

大倉山ジャンプ競技場ラージヒル改修工事概要

【工事概要】

工事内容	<p>1. ジャンプ台改修 最新の国際競技規則に適合していないラージヒルについて、2028年のFIS公認を取得するため、ジャンプ台の改修を行うとともに、経年劣化がみられる構造の補修を行う。</p> <p>2. 老朽化設備の改修 老朽化しているジャンプ台付帯物のほか、競技関連設備の改修を行う。 (詳細な工事内容については以下【項目別詳細】を参照すること。)</p> <p>3. 工期 (予定) 令和9年4月～令和11年3月 (工事着手及びしゅん工時期については現時点での想定であり、価格の交渉等契約関係事務の状況により、早期に着手することなどを妨げるものではない。)</p>
施工条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 2028年のFIS公認を取得できるよう改修工事を完了させること。 ● 周辺自然環境への影響を最小限とすること。 ● 冬季のスキージャンプ大会は可能な限り開催を継続させること。 ● オリンピックミュージアムやスタートハウス、ペアリフトといった観光利用に関する施設・設備に関しては、可能な限り利用可能な状態を維持することを原則とする。 ● オリンピックミュージアム（アネックス含む）やスタートハウス、ペアリフトといった観光利用に関する施設・設備に関しては、可能な限り利用可能な状態を維持することを原則とし、施工計画の内容については、業務着手後、発注者と共に施設管理者等と条件等の協議を行うこと。 ● また、最適な施工計画を立案する上で、ペアリフトが支障となる場合は、施設所有者である札幌振興公社の合意のもと、必要期間の運行停止を行うことも検討の選択肢に含むものとする。この場合の条件や他施設への影響等についても、札幌振興公社が施設管理者ともなっていることから、上記協議と一体で行うこと。 ● 将来的に同敷地内においてノーマルヒル整備工事等の関連工事に着手する可能性があるため、留意すること。

【項目別詳細】

項目	内容
ジャンプ台本体 (インラン部)	<p>構造形式 (基礎含む) : EPS工法 主要部材 : EPSブロック 延長 : 110.624m (実延長) 幅構成 : スタートゲート区間 9.000m=2.500m+2.150m×2+0.6m×2+0.5×2 インラン区間 9.000m=2.500m+1.500m×2+1.750m×2 インラン部形状詳細 : A(x=-89.422 z=46.833), B(x=-68.554, z=32.205), E1(x=-70.255 z=33.398), E2(x=-6.714 z=1.369), T(x=0.000 z=0.000), e1=102.00m, e2=76.50m, es=25.50m, t=6.85m, γ=35.00deg, α=11.50deg, r1=105.00m</p>

スタートゲート屋根	<p>スタート待機の選手や大会関係者を降雪や風から保護するため、インラン部に片持ちの屋根を設置する。</p> <p>延長：約25m 幅：約4m 高さ：約4m（基礎部除く） 構造形式：鉄骨フレーム+膜屋根・壁 主要部材：鉄骨：溶融亜鉛メッキ仕上げ、膜：不燃認定膜材</p>
運営本部棟選手控室拡張	<p>多数の選手が参加する大規模大会への対応を最適にするため、運営本部棟選手控室と隣接する通路との壁を撤去し、一体の空間として整備する。</p>
ランディングバーン構造補修	<p>損傷部位の補修に加え、損傷要因の除去も併せて以下の補修対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼部材塗膜劣化および腐食部対策 ・鋼部材損傷要因除去対策（床版部の漏水対策） ・支承部モルタル補修及び要因除去対策
人工降雪設備	<p>老朽化している人工降雪設備の更新を行う。</p> <p>【更新対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工降雪機 ・送水ポンプ ・関連配管及び制御機器一式
給水設備 散水設備	<p>インラン部撤去・新設に伴う改修及び老朽化している給水設備の更新を行う。</p> <p>【更新対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各給水ポンプ ・各受水槽、高架水槽 ・配管及び弁類
排水設備	<p>インラン部撤去・新設に伴う改修及び老朽化している排水設備の更新を行う。</p> <p>【更新対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管及び弁・樹類
屋外排水	<p>インラン部及びランディングバーンの一部について、屋外排水設備（U型側溝、雨水枡）の更新・新設を行う。</p>
屋外照明	<p>老朽化している既存競技用照明のLED化を行う。</p> <p>【想定更新対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インランスタート部照明 ・照明塔2-1, 2-2, 4 ・照明塔H ・飛型審判塔屋上照明 ・運営本部棟屋上照明
インフラ (電力・配線 設備)	<p>インラン部撤去・新設に伴うカンテ下キュービクル及び配線・配管更新及び老朽化しているスタート台～ランディングバーンの配線・配管の更新を行う。</p>
インフラ (通信・配線 配管)	<p>老朽化しているスタート台～ランディングバーンにかけて配線・配管の更新を行う。</p>
電光掲示板	<p>老朽化および旧式化に伴い、大型ビジョンへの更新を行う。</p>
自家発電 設備	<p>自家発電設備の更新自体は行わないが、競技大会開催時における競技照明のバックアップ用仮設電源を接続するための接続盤を設ける。</p>
計測設備	<p>老朽化している設備および配線の更新を行う。 配線は屋内配線だけではなく、屋外配線も含む。</p>
データ処理 設備	<p>老朽化している設備および配線の更新を行う。 配線は屋内配線だけではなく、屋外配線も含む。</p>

ブレストインカム	老朽化している設備および配線の更新を行う。 アンプ電源については、デュアル化を見越した容量とする。 配線は屋内配線だけでなく、屋外配線も含む。
屋外放送設備	老朽化している設備の更新のほか、インラン部に設置しているアンプ盤の撤去・移設を実施する。 【更新対象設備】 ・スタートハウスアンプ架 ・スタート台下アンプ盤（撤去・再取り付け）
テレビ共聴設備	テレビ中継設備のデジタル化に伴い、ヘッドエンドおよび各種モニター類、配線の更新を行う。
テレビ中継設備	テレビ中継設備のデジタル化改修のほか、現行の中継形式に合わせた既存盤の改修・増設、配線の更新を行う。
ランディング防護版	延長：L=402.0m 構造・規格：構造用集成材（直通材を湾曲加工） t=40
アウトラン防護版	延長：L=188.0m 構造・規格：構造用集成材（直通材） t=40
サマーヒル	面積：ランディングマットA=4923m ² , ブレーキングターフ A=2240m ² 規格：FIS認定品
クーリングトラック	インラン部撤去・新設に伴いクーリングトラックを最新のシステムへ更新を行う。 【更新対象】 ・クーリングトラック本体 ・トラック用カッター及びウインチユニット ・配管及び弁類 チラーユニット及び循環ポンプ等補機類は既存のまま。
ビデオ判定架台	既存の仮設的な構造から更に強固な構造の架台への更新を行う。 面積：約2.5m ² （踊り場） 高さ：約11m（基礎部除く） 構造形式：鉄骨造、梯子・転落防止籠付き
カンテ横テレビ中継架台	インランプロフィール変更に伴い、適正なカメラ位置を維持できるよう更新を行う。 面積：約5.6m ² （踊り場） 高さ：約7m（基礎部除く） 構造形式：鉄骨造、梯子・転落防止籠付き
鋼製階段	延長：インラン L=170.0m, ランディング L=129.4m 構造：インラン W=1.2m , ランディング W=0.9m
連絡通路	延長：L=84.9m, L=26.2m 構造：W=1.2m , W=0.9m
仮設	基本設計では、仮設計画案の1例として、既設トラス構造の撤去（1部材：最大3t）が可能な計画案を示している。効率的な独自の計画を立案すること。